

第一回 防災実践報告勉強会

みなさま日頃から防災についてどのように考えておられますか？

熊本地震を体験して、防災の重要性がますます問われています。

こうした状況をふまえ、防災について技術的・体系的に捉えようということで、防災実践報告勉強会を月一回の定例企画として行っています。

第一回目は、木造住宅の耐震設計、耐震診断・耐震補強に取り組んでいる、高本直司さんを招いて、これからの耐震設計の考え方を学びます。

講師： 高本直司氏 （一級建築士事務所アーク・ライフ）

「熊本地震では震度7が前震(4/14 午後9時)と本震(4/16 未明)の2回観測され、前震では倒壊しなかった住宅が本震で倒壊したことが報告されています。

また、前震と本震以外にも震度6強が2回、震度6弱が3回、5強が4回と繰り返し大きな地震が発生しました。建築基準法では建物の耐用年限中に1回発生するかもしれない地震(震度6強程度)に対し、倒壊しないことを規定していますがこれだけでは不十分なのでしょうか。このような繰り返しの地震に対し木造住宅はどう備えればよいのか、報道や学会報告等の情報を共有するとともに、木造住宅の耐震設計、耐震診断・耐震補強の実例報告を通じて考えます。」

- 日時 7月14日(木)
18:30~20:00
- 場所 NPO法人
都市住宅とまちづくり研究会
「COMS HOUSE」
千代田区神田東松下町33番地
電話 03-5207-6277
FAX 03-5294-7326
- 参加費 1000円
- 主催 新建築家技術者集団東京支部



TEL03-3260-9810 FAX 03-3260-9811 メール shinken-tokyo@group.email.ne.jp